

しているところである。

(町民生活部長・防災安全課長)

○町の行事について

Q 戦後70年の節目に戦没者追悼式の行事の予定は。

A 町としては、単独での開催ではなく、境町遺族会との共催が望ましいと考え、境町遺族会のご意見を拝聴したうえで、記念事業の開催について検討して参りたい。

(福祉部長・社会福祉課長)

Q 境町合併60周年記念式典について。

A 記念式典は、平成27年4月又は、5月に開催し、記念イベントにつきましても、例年開催の「さかいふるさと祭り」等のイベントに併せまして開催し、町内・町外の皆様方に、強くアピールして参りたいと考えている。

(総務部長・総務課長)



議席4番

櫻井 実 議員

○観光開発について

Q 町の観光地開発の計画はどのようなになっているのか。

A 来年3月の圏央道境古河インターチェンジの供用開始に伴い企業立地の誘致を図り、雇用の拡大、町税の増収等の経済波及効果が期待され、同時に多くの集客も見込まれることから観光事業も充実させる必要がある。

今後、道の駅を、リニューアルし「地域のプラットホームとしての役割」を重視し、文化、雇用創出、防災拠点等様々な施策と連帯を図り第2ステージづくりを進めたい。高瀬舟は、風防等の改良を加え、運行外の期間や夕方等に舟を係留した状態で、イベント等時



櫻井 実 議員

は境河岸と一体となって利用したい。また、河岸の土産品開発を中心に事業を進めたい。

(秘書公室長)



Q 歴史建造物を復元する等、観光所をつくる考えはないか。

A 建造物だけでなく、境町には、昭和を感じさせるレトロな食堂等があり、まだまだ目に見えない観光資源が眠っており、掘り起こしに努めている。新たな観光施設を作るだけでなく、探し出し、関連性を見出しストーリー性を大事にして観光資源の開発に努めたい。

長井戸城、稲尾城の復元やふれあいの里から毘沙門塚古墳に至る国道354号バイパス予定沿線のサイクリングコースの設定は現在のところ計画はしていない。

(秘書公室長)

Q 圏央道、境古河インターチェンジ開通に伴うイベント等について。

A 国土交通省によると境古河インターチェンジの開通式は、埼玉県、茨城県のどちらか一箇所で開催される予定で調整されており、平成27年1月末に正式発表される。

プレイベントについては、近隣市町ではウォーキングを中心としたイベントを企画している。現在、イベント会社とテレビとの連携を図った町民参加型の内容で調整を進めている。この際、境古河インターチェンジの名称からも古河市の協力を得ながら進めて行く。
なお今回イベントの委託料として500万円の補正予算を計上している。

(秘書公室長)

